



謹賀新年 本年もよろしくお祝い申し上げます

今年も昨年のように、新年早々世の中を不安にさせるような大きなニュースもなく、皆さまにおかれましてはお健やかに新年を迎えられたことと思います。昨年中は、地域・保護者の皆さまより物心両面で様々なご協力、ご支援をいただきありがとうございました。学校における行事等においても、コロナ禍の時のような活動に対する制限もなくなり、生徒たちが活躍する姿を皆さまにご覧いただけたことを嬉しく思っております。今年も七中生一人一人にとって飛躍の年になりますよう教職員一同一枚岩となり、丁寧に教育活動を進めて参ります。本年もよろしくお祝い申し上げます。

「新しい年“巳年”のスタートによせて」

〈3学期・始業式での校長式辞より〉

皆さん、明けましておめでとうございます。思いの外、積雪の少なかった年末年始でした。ご家族とのんびりゆったりと、思い思いの時間を過ごしたことと思います。この年末年始、ふと、一年前の元日に発生した能登半島地震を思い起こしては、復興への希望を力に変えながら一日一日を前向きに生きている多くの方々へ思いを馳せていました。“当たり前の日常”のありがたさをあらためて全校生でかみ締め合い、感謝を忘れず、新年を“明るく、元気に、前向きに”過ごしていきましょう。



さて、よく耳にする「干支」というのは、子・丑・寅・卯…と続く十二支（じゅうにし）と呼ばれる動物と、十干（じっかん）というものを組み合わせたものです。十干十二支（じっかんじゅうにし）は全部で六十種類あり、六十歳の「還暦」は自分が生まれた時の干支に戻ってきたことのお祝いです。今年は、十干の「乙（きのと）」と十二支の「巳（み）」が組み合わせられた「乙巳（きのとみ）」です。乙は、十干の二番目で「木」の要素を持ち、「草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく」意味を持ちます。また巳は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。ですから、乙巳の今年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」といったことを表している年だそうなんです。

ところで、皆さんは「一年の計は元旦にあり」という言葉を聞いたことがありますか。この言葉には、「年の初めに自分を成長させるために、今年は何をするのか」という目標を定め、決意を新たにすることが大切だという教えがあります。そして、その根底には、「年の初めの過ごし方が、その一年を左右する」という考えがあります。

そこで、新年の始まりにあたって、紹介したいお話があります。ある著名な方の、子どもの頃の思い出話です。

小学校の低学年の頃、お祖父ちゃんと一緒に風呂に入りました。その時、お祖父ちゃんは、「風呂の湯を向こうに押してやると湯がこっちに返ってくるだろう。湯をこっちに寄せようとすると向こうに行ってしまうだろう。だから、自分から何かを欲しがってはダメだ。相手に何かをしてやれば、結局、それが自分に返ってくるんだよ。」という話を何回もしてくれました。子どもながらにそんなものかなと思いつつ聞いていましたが、風呂で色々な話を聞いた中でも、この話だけは妙に記憶に残っています。

このお話は、人に思いやりや親切、つまり施しをもって接することの大切さを教える、二宮尊徳の「風呂の湯の哲学」という有名な教えです。二宮尊徳は、昭和の時代を生きた私たちには、校庭にあった二宮金次郎像で馴染み深い、江戸時代後期に生きた有名な思想家であり指導者です。人間関係は風呂の湯のようなもので、「自分だけが良ければいい」と自分の利益ばかり考えて湯を手前にかき寄せても、脇をすり抜けて向こうへ流れて行ってしまいます。けれども、「自分のことよりも他の人のために」という『利他（りた）の心』で湯を相手の方へ押せば、湯はぐるっと回って自分の方へ返ってきます。相手に何かをしてもらおうと期待するのではなく、自分の方から行動を起こすこと、心を受けとれば心を返すこと、それが人間関係をよくする秘訣だと思うのです。まずは、「あいさつ」とボランティア精神・奉仕の心を大切に、三学期をスタートしましょう。あいさつの「あ」は「相手の目を見て」、「い」は「いつも笑顔で」、「き」は「爽やかに」、そして「つ」は「常に自分から」の精神で。ボランティアの心は、日常のあらゆる場面で、相手の状況や心情を慮った（おもんばかった）言葉がけや行動を。そのどちらも、風呂の湯を自分から相手の方へ押す『利他（りた）の心』で。市内に誇る我が七中のよき校風を、さらに一歩前へ進める、それが今学期、皆さんに期待したいことです。

結びになりますが、二か月半後には進学や進級という、希望に満ちた『新たな春』への準備の学期である今学期に、二学期以上に笑顔と充実感あふれる表情をたくさん見られることを楽しみにしています。3年生は45日間、一・二年生は47日間の今学期、そして今年一年が、皆さんにとって「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になることを願います。始業式のことばとします。

* 3年生に素敵な春が訪れますように・・・～進路激励会が行われました～*

1月に入り、3年生にとって人生初の大きな壁となる高校入試が始まっています。休み時間に教室で問題を黙々と解く姿や放課後、職員室で先生方に熱心に質問をする姿、緊張しながら出願の書類を書く姿など、様々な姿を目にして、全員が合格することを願わずにはられません。12月23日(月)の終業式の日「3年生進路激励会」を行いました。1、2年生が協力して、励ましの言葉が入った寄せ書きと合格だるまを作成し、3年生の各クラスに贈呈しました。3年生の各クラスの代表の生徒が、だるまの片方の目を入れ、体育館に激励の拍手が響きました。

たくさんの人が3年生を応援しています。素敵な春が訪れることを信じ、努力を続けてほしいです。



** 県中学校総合体育大会スキー競技に出場・健闘しました **

1月14日(火)・15日(水)に、最上町の赤倉温泉スキー場を会場に「県中総体スキー競技」が行われました。本校から、池田康汰郎さん(2年)がスラローム・ジャイアントスラローム競技に出場し、練習の成果を発揮し健闘しました。

** たくさんの協賛金をいただき、ありがとうございました **

今年度も保護者・地域の皆さまから、「山形七中体育振興会」「山形七中教育後援会」への協賛金を頂戴いたしました。体育振興会につきましては、駅伝大会参加の際のバス代、保健体育科の授業で活用する用具やプールの薬品の購入、中体連関係の大会(県大会以上)参加への補助、熱中症指数計の購入に活用させていただきました。熱中症指数計については、昨今の猛暑で心配される熱中症予防のために、各部活動ごとにひとつずつ購入させていただき、大変有り難く使わせていただいております。

教育後援会につきましては、山形テルサで合唱コンクールを実施した際の会場費に活用させていただきました。また、たつぷりと本が収納でき、回転もできる本棚の購入や本の貸し出しシステムを更新させていただくなど、生徒たちのよりよい読書環境を整えるために、有効に活用させていただいたところです。

それぞれの協賛金の収支につきましては、来年度の各総会の場でご報告させていただきます。皆さまの温かいお心遣いにより、今年度も生徒たちが生き生きと、充実した学校生活を送ることができておりますことに、心より感謝申し上げます。

回転する本棚 →



*** 保護者の皆様へのお願い ***

年度末が近づいて参りました。生徒たちは、次年度に向け、3学期をそれぞれの学年の「ゼロ学期」と捉えて授業や諸活動において今年度のまとめを行っているところです。3年生は、私立高校の推薦入試がひと段落し、間もなく始まる私立高校の一般入試に向けて、授業や放課後の学習会に真剣な表情で取り組んでおります。

年度末、保護者の方のお仕事などのご都合で、転居または転出のご予定がございましたら、諸手続きの都合上、早めに学校(担任)までお知らせいただければ幸いです。ご協力の程、よろしくお願いいたします。